

令和6年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	老人憩いの家(8施設)
(2)施設概要	<p>施設の設置目的 地域の高齢者に対し、教養の向上、レクリエーション等のための憩いの場を供与し、心身の健康の増進を図る。</p>
	<p>①三橋老人憩いの家 所在地 さいたま市大宮区三橋2-59 開設年月 昭和56年4月 構造 鉄骨造 2階建(三橋児童センター)の一部 主な施設 ふれあいの間</p> <p>②三橋老人憩いの家分館分館 所在地 さいたま市大宮区三橋2-259-1 開設年月 平成14年12月 構造 鉄筋コンクリート造 2階建 主な施設 和室、小会議室、大会議室兼レクリエーション室、ギャラリー</p> <p>③天沼老人憩いの家 所在地 さいたま市大宮区天沼町1-194 開設年月 昭和59年4月 構造 鉄骨造 2階建(天沼児童センター)の一部 主な施設 ふれあいの間</p> <p>④宮原老人憩いの家 所在地 さいたま市北区宮原町4-66-13 開設年月 昭和60年4月 構造 鉄骨造 2階建(宮原児童センター)の一部 主な施設 ふれあいの間</p> <p>⑤植水老人憩いの家 所在地 さいたま市西区中野林174-1 開設年月 平成2年4月 構造 鉄骨造 2階建(植水児童センター)の一部 主な施設 ふれあいの間</p> <p>⑥本郷老人憩いの家 所在地 さいたま市北区本郷町1065-3 開設年月 平成3年4月 構造 鉄骨造 2階建(本郷児童センター)の一部 主な施設 ふれあいの間</p> <p>⑦片柳老人憩いの家 所在地 さいたま市見沼区東新井710-78 開設年月 平成4年7月 構造 鉄筋コンクリート造 2階建(片柳児童センター)の一部 主な施設 ふれあいの間</p> <p>⑧春野老人憩いの家 所在地 さいたま市見沼区春野1-7-1 設置年月 平成6年7月 構造 鉄筋コンクリート造 2階建(春野保育園)の一部 主な施設 ふれあいの間</p>

(3) 指定管理者	社会福祉法人さいたま市社会福祉事業団																								
(4) 指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日</p> <p>②指定管理料(直近3か年) 令和4年度 7,876千円 令和5年度 7,744千円 令和6年度 7,659千円</p>																								
(5) 施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況 ・利用者数29,417人(前年度21,244人) ※宮原老人憩いの家は大規模修繕のため令和6年6月8日から令和7年3月31日まで休館</p> <p>◇業務実施状況 「シニア世代の生きがいやりがいを応援し、地域の中で笑顔でつながり活躍できる老人憩いの家」を目指すを基本理念に介護予防と健康づくり、生きがいづくりの支援、支え合う活力あるまちづくり、児童とのふれあいの場高齢者が活躍できる場の提供するという4つの基本方針のもと運営を行った。 引き続き感染症対策、熱中症対策をしつつ館内の安全対策をはかりながら事業、世代間交流を行った。</p> <p>②維持管理業務の状況 「サービス(業務)マニュアル」に基づき法定点検、定期点検、保守点検の他、自主点検、環境整備、備品等の保守点検を実施し、利用者に安全で快適な環境を提供することにより努めた。</p> <p>③その他の業務 利用者懇談会、避難訓練、世代間交流事行、囲碁・将棋、健康体操等の介護予防や健康づくりに関する行事、介護に関わる講座や相談の開催。集いの場の提供等。</p>																								
(6) 収支状況	<p>①収入</p> <table border="0"> <tr> <td>・老人福祉事業収入</td> <td>1千円</td> <td>(前年度 0円)</td> </tr> <tr> <td>・指定管理料</td> <td>7,659千円</td> <td>(前年度7,745千円)</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>6千円</td> <td>(前年度 49千円)</td> </tr> <tr> <td>・前期末支払資金残高取崩</td> <td>396千円</td> <td>(前年度4,224千円)</td> </tr> </table> <p>②支出</p> <table border="0"> <tr> <td>・事業費</td> <td>435千円</td> <td>(前年度 463千円)</td> </tr> <tr> <td>・事務費</td> <td>1,576千円</td> <td>(前年度1,346千円)</td> </tr> <tr> <td>・施設管理費</td> <td>5,381千円</td> <td>(前年度5,225千円)</td> </tr> <tr> <td>・繰入金支出</td> <td>670千円</td> <td>(前年度5,045千円)</td> </tr> </table>	・老人福祉事業収入	1千円	(前年度 0円)	・指定管理料	7,659千円	(前年度7,745千円)	・その他	6千円	(前年度 49千円)	・前期末支払資金残高取崩	396千円	(前年度4,224千円)	・事業費	435千円	(前年度 463千円)	・事務費	1,576千円	(前年度1,346千円)	・施設管理費	5,381千円	(前年度5,225千円)	・繰入金支出	670千円	(前年度5,045千円)
・老人福祉事業収入	1千円	(前年度 0円)																							
・指定管理料	7,659千円	(前年度7,745千円)																							
・その他	6千円	(前年度 49千円)																							
・前期末支払資金残高取崩	396千円	(前年度4,224千円)																							
・事業費	435千円	(前年度 463千円)																							
・事務費	1,576千円	(前年度1,346千円)																							
・施設管理費	5,381千円	(前年度5,225千円)																							
・繰入金支出	670千円	(前年度5,045千円)																							
(7) 利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	<p>法人としてさいたま市社会福祉事業団「みなさまの声」設置要項に投書箱の設置、サービス向上担当者会議による「福祉サービス利用者アンケート」等の実施により利用者からのご意見・ご要望を受ける機会を設けた。アンケートでは施設職員の対応に対し感謝、お礼の言葉をいただいた。『スリッパの数を増やしてほしい』、『除草について』等施設管理に関する事は館で対応した。団体利用でご利用の方の中には職員と挨拶程度の関りで憩いの家の機能をご存じない方がいらっしゃる事が結果から見えた。利用者懇談会や日々利用者対応をする中でいただいた意見や要望を随時検討し、支援やサービスに活かすよう努めた。</p>																								
(8) その他																									

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
介護予防と健康づくりの促進	高齢者が楽しみながら体を動かしたり、健康づくりに対する意識が高められるよう「健康体操」等の運動指導、レクリエーション活動を行った。また、介護や認知症に関する講話、健康や栄養、介護についての相談事業を実施した。
生きがいづくりの支援	手芸、工作教室、囲碁・将棋、カラオケ等高齢者が興味を持ち、趣味を深められるよう事業を開催した。 また、諸活動への参加を通して円滑に仲間づくりができるように活動の支援と場の設定を行った。
支え合う活力あるまちづくりの推進	併設児童センターとの共催事業を開催し異世代交流を行い、利用者懇談会では利用者同士顔を合わせ、意見交換する機会や場を持つことで高齢者の地域の支え合いのシステムを支援した。 地域の関係機関と連携し、さいたま市担当課、地域包括支援センター、警察署、消防署等との連携、共催により、高齢者が安全・安心な生活ができるよう暮らしに関する各種講話、防災に関する講話等を開催した。
児童とのふれあいの場、高齢者が活躍できる場の提供	児童センター併設の特性を活かし、高齢者が活躍できる場として、eスポーツ・囲碁教室・運動会・手話ダンス・ふれあい花壇等で児童、保護者と世代を超えた交流の場の設定と支援を行い、相互関係が深まるよう努めた。

3 評価

(1) 指定管理者による評価

『さいたま市いきいき長寿応援プラン』内の基本分野1「健康の維持と介護予防を進める」、2「高齢者が活躍できる場を確保」、3「地域の多様な主体により高齢者の生活を支援する」の一部を担うよう行事の実施、環境の整備を行った。
スマートフォン教室を開催するにあたって通常行っている事業の終了後に開催する、教室途中の休憩時間に体操を取り入れる等利用者が参加しやすいよう配慮をした。
昨年度に引き続き施設に足を運んでもらえるように事業を行い、自治会の掲示板、回覧板、HP、Xを利用し情報発信をする等広報活動に力を入れた。
法人内8館の憩いの家の会議を開催し情報交換を行った。また、来年度以降各館でeスポーツに取り組むため備品を揃える必要があることから令和7年度に助成金に応募することを決定した。
利用者サービス向上のため、内部研修を行うなど資質向上に務めた。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:福祉局長寿応援部高齢福祉課)

総合評価 (B) ※A~D
1 項目別の評価
(1)「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価
・利用者が事業に参加しやすい工夫を行い、市民サービスの向上に努めた点、利用促進に向けた様々な媒体を活用した情報発信を行い、利用者の増加に繋げている点を評価した。また、施設の特性を生かした世代間交流を実施している点を評価した。
(2)「経費の削減」に対する評価
・計画的かつ効率的な執行を図り、経費の節減に努めていた点を評価した。
(3)「適正な管理運営の確保」に対する評価
・利用者サービスの向上のための内部研修の実施や、利用者からの声に対する早急な対応など、利用者が安心安全に利用できるような取り組みを実施している点を評価した。
2 総合評価
事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き適切な管理運営に努めて下さい。